

## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書

都道府県名	青森県		
承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検（評価）における所見（評価）及び指導内容
平成30年度	青森市	後潟地区	「付加価値額の拡大」については目標を達成したが、「経営面積の拡大」については1経営体が目標を達成できなかった。この経営体の達成率は80%未満であり、条件の良い農地の確保が課題となっていることから、農地中間管理機構や農業委員会と連携して、経営面積の拡大を重点的に支援していく。
平成30年度	青森市	野沢地区	「経営面積の拡大」については目標を達成した。「付加価値額の拡大」については、1経営体が大雨の影響で大豆の収穫量が減少し、達成率が80%未満となったことから、JA営農指導員と連携して生産技術の向上についての支援を強化していく。また、「農業経営の法人化」については、米価の低迷等経営環境が厳しさを増す中で慎重に検討しており、法人化に至っていないが、農業経営相談所等による支援を継続していく。
平成30年度	黒石市	厚目内地区	成果目標の「付加価値額の拡大」が達成されなかった。今後、市、農業委員会、農協等関係機関と連携しながら、作業の省力化による経費削減等を通じて、経営体による農産物の高付加価値化が図られるよう指導・助言を行っていく。
平成30年度	平川市	尾上①地区	成果目標の「付加価値額の拡大」「経営面積の拡大」が達成されなかった。今後、市、農業委員会、農協等関係機関と連携し、人・農地プランなどの地域の話し合いの場の活用や作業の省力化による経費削減及び農地情報の提供等を通じて、経営体による農産物の高付加価値化や経営面積拡大が図られるよう指導・助言を行っていく。
平成30年度	大鰐町	大鰐地区	成果目標の「付加価値額の拡大」が達成されなかった。今後、町、農協等関係機関と連携しながら、引き続き土壌改良による品質改善や露地栽培による設備投資の削減、作業省力化が見込める他作物の導入検討等を進め、経営体による農産物の高付加価値化が図られるよう指導・助言を行っていく。
平成30年度	田舎館村	南地区	成果目標の「付加価値額の拡大」「経営面積の拡大」「農業経営の複合化」が達成されなかった。今後、村、農業委員会、農協等関係機関と連携し、導入機械の効率利用を進め、経営体による農産物の高付加価値化や経営面積拡大、経営の法人化が図られるよう指導・助言を行っていく。
平成30年度	五所川原市	金木北地区	付加価値の拡大については、昨年8月の大雨によりハウスが浸水し、トマトの生産量が減少したことから、目標を達成できなかった。 このため、市や農協と連携して営農指導や専門家等による重点指導を利用して経費の削減などについて指導に努める。
平成30年度	五所川原市	市浦地区	経営面積の拡大について、農地の貸借条件により貸し手農家等との調整ができなかったため、年度目標は未達成となった。 このため、県は、市と連携しながら、農業委員会の農地の斡旋や農地中間管理事業の活用等について指導に努める。
平成30年度	深浦町	風合瀬・晴山・田野沢地区	—

平成30年度	中泊町	中里地区	<p>付加価値額の拡大については、米価下落と肥料や資材の高騰により、年度目標は達成できなかった。</p> <p>このため、県は、町と連携しながら、専門家等による重点指導（栽培管理）による経営の健全化の指導に努めるほか、農業委員会の農地の斡旋や農地中間管理事業の活用等について指導に努める。</p>
平成30年度	中泊町	内潟地区	<p>付加価値額の拡大については、米価下落と肥料や資材の高騰により、年度目標は達成できなかった。</p> <p>経営面積の拡大については、農地の貸借条件で調整ができなかったため、年度目標は未達成となった。</p> <p>このため、県は、町と連携しながら、専門家等による重点指導（経営診断）による経営の健全化の指導に努めるほか、農業委員会の農地の斡旋や農地中間管理事業の活用等について指導に努める。</p>
平成30年度	三沢市	南部地域地区	<p>経営面積拡大の目標は4経営体全てで達成しているが、付加価値額の拡大は1経営体、経営コストの縮減は2経営体、農業経営の法人化の目標は1経営体で未達成なので、事業実施主体に対して法人化への相談・支援を行うなど、目標達成を図るための指導を行う。</p>
平成30年度	おいらせ町	下田小学校区地区	<p>1経営体が付加価値額の拡大、経営面積の拡大及び農業経営の法人化に取り組んでいるが、すべて未達成となった。引き続き、事業実施主体に対し、農協や農地中間管理機構と連携した農地の確保など、目標達成のための支援をしていく。</p>